

令和4年11月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和4年11月24日（木）13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立市民スポーツセンター第1会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
田中とし子	委員
西堀 政幸	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
増田 義和	学校教育課 課長補佐兼子ども育成係長
朝比奈 誠	生涯学習課 課長補佐兼図書係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
中堀 啓司	生涯学習課 社会教育係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 西堀 政幸 委員を選出。

3 10月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認。

4 教育長報告事項

11月事業報告及び12月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

新聞記事を参考に報告する。

まず、10月27日付けの新聞には、小学校連合体育大会が、4年ぶりに開催された記事が掲載された。

当日は秋らしい快晴で、5・6年生270人が7競技に参加した。

児童には怪我もなく、制限がある中でも多くの保護者が参観に訪れ、写真を撮影する光景が見られた。

来年度は音楽発表会が予定されているが、大きな行事は中止が続いており、運営のノウハウの引継ぎも大変だったと思う。

10月28日付け新聞には、「ネットいじめ見えない被害」との見出しで、文部科学省による調査で、SNS等を通じたネットいじめとして認知された件数が、過去最多の21,900件となったと報じられていた。

学校側の知識が追い付いていない状況で、学校だけでは対応できていないことが実態である。

同じく同日付け新聞には、教員採用試験前倒しの記事が掲載された。

現状では、大学4年の7月から8月に試験、9月から10月に合格発表であるが、民間企業が6月までに内々定を出すことに対応し、優れた人材を確保する目的で前倒しとなるもので、詳細については未定である。

10月29日付け新聞には、生徒のミスガを注意した中学校教員が保護者から抗議を受け、学校側が逆に謝罪したとの記事が掲載された。

疑問の声も当然上がっており、果たしてそれで良いのかと、残念で悔しい感想を持った。

静岡大学教職大学院の武井教授は、「かつては問題にならなかったような指導がトラブルになる例は多い」、「スクールロイヤー導入や、教職員のメンタルサポートの充実」を挙げており、「日頃から過去の事例などに目を向け、判断力を高めておく必要がある」と述べていた。

10月30日付け新聞には、東京オリンピック女子サーフィン金メダリストのムーアさんが下田中学校を訪問した様子が掲載された。

29日からホストタウン交流事業が下田市でスタートし、下田中学校サーフィン部の生徒と3日間の交流を行った。

11月3日には、下田中学校サーフィン部員約10人と保護者もホストタウンの牧之原市を訪問し、サーフスタジアムでサーフィン交流を行った。

生徒達は、貴重な体験をすることができた。

10月31日付け新聞には、「おばけ風まんじゅう 親子で和菓子作り」の見出しで教育委員会主催の親子和菓子づくりの様子が紹介された。

9組20人の親子が参加し、和菓子職人を講師に、ハロウィンにちなんで練り切りやおばけ風のまんじゅう作りを行った。

11月1日付け新聞には、下田中学校1年生の地域体験学習の様子が紹介された。

1年生130人が、恵比須島、爪木崎でのジオ学習、了仙寺、玉泉寺での歴史学習、稲生沢側での鮎釣り体験、ドローン講座等多岐にわたる体験学習を行った。

ドローン講座は、市のグローバルCITYプロジェクトの一環として実施された。

11月3日付け新聞には、「女性の社会参画 この地域を元気にできるのは女性」をテーマに開催されたパネルディスカッションの様子が掲載された。

天野委員がパネリストとして参加され、「地域の課題とは」、「女性が地域のリーダーになるためには」、「女性の社会参画」の3点をテーマに意見交換が行われた。

私は、都合で参加できなかったが、今後ケーブルテレビでの放送が予定されているため、委員の皆さんもご覧いただきたい。

11月3日付けの新聞には、公立高校の生徒募集計画が掲載された。

前日の11月2日に県教育委員会から2023年度の生徒募集計画が発表されたもので、近隣では、伊豆中央高校が普通科1学級減、松崎・稲取は現状どおり2学級、南伊豆分校は1学級となる。

新設される伊豆伊東高校は普通科4学級、ビジネスマネジメント科2学級で、先日の賀茂地区教育長会の際、伊東高校、伊東商業及び城ヶ崎分校の校長から、伊豆伊東高校の説明を伺ったが、賀茂、東豆地区とも、互いに生徒の確保をしたいので複雑な心境であった。

下田高校も来年度から1学級が減となる。

11月4日付け新聞には、元校長が教科書選定で収賄の疑いにより、書類送検された記事が掲載された。

2021年度の教科書採択の際に、教科書会社に便宜を図った見返りに現金を受け取るなどしたもの。

あつてはならない事件ではあるが、教科書採択の時期には、起こりうる事案で、その都度県内、東部、賀茂地区でも指導されている。

11月4日付け新聞には、青少年育成支援強調月間に併せた、街頭キャンペーンの様子が紹介された。

朝は市内7小学校、夕方は市内スーパー4店舗で啓発チラシ配布や挨拶運動を実施した。

11月4日付け新聞には、まどが浜海遊公園で開催された、文化芸術団体やスポーツ団体の子ども達が日頃の活動の成果を発表する催し、「シー&レインボー ウィー・アー・シモダ・キッズ」の様子が紹介された。

子ども達をはじめ、市民に改めて下田市内で営まれている文化活動にこれまで以上に興味を持ってもらうことと、市内のスポーツクラブや、習い事の団体が、身近にあることを認識していただくとともに、市民の交流を図る趣旨で開催された。

11月5日付け新聞には、市の体験プログラム事業補助金を活用し、下田小学校4年生32人が、敷根公園でツリークライミングと、木材を使った工作等の体験活動を行った様子が紹介された。

11月5日付け新聞には、土屋建設様から浜崎小学校体育館に時計を寄贈いただいた記事が掲載された。

体育館の時計は、1学期の初め頃から故障しており、体育館外壁修理の施工業者であった土屋建設様から、児童の役に立つようにと寄贈いただいたもので、これまで付いていなかったボールガードも設置していただいた。

11月8日付け新聞には、6日に開催された、「南豆の歴史を後世に」連続講座の2回

目となる、市文化財保護審議会会長外岡龍二先生による「下田城跡の測量調査中間報告」の様子が紹介された。

11月11日付け新聞には、来年度4月に発足することも家庭庁が、各地域にいじめ相談窓口設置を展開する旨の記事が掲載された。

いじめに悩む子供のSOS察知のために各地に窓口を設置するもので、寂しい話題であるが、身近な存在として相談相手になりそうな教職員との間に信頼関係が築けず、悩みを抱え込むこどもがいることが考えられ、このような事態に対応するため、こども家庭庁にある相談窓口との両輪で対応し、自治体に助言するいじめ調査アドバイザーを任命する。

いじめが原因での自殺が急増する中で、いじめに関する相談窓口を首長直轄の部局に設置している自治体は40%で、再発防止策に向けた議論を円滑に前進させる考えとのことである。

11月10日付け新聞には、道の駅、伊豆ゲートウェイ函南の旧稲梓中学校の備品を活用したソフトクリームスタンド改修の記事が掲載された。

ソフトクリームスタンドの一角を、学校を模したデザインとして、観光客に広く特産品のイメージを周知しようと企画されたもの。

9月に開催した、旧稲生沢中学校の備品譲渡会が大きな成果を上げ、そのニュースを目にした関係者から譲渡の申し込みがあったもの。

今後、旧稲梓中学校と旧下田東中学校においても譲渡会を実施する予定である。

11月16日付け新聞には、大賀茂小学校が読書活動において、県の優秀実践校の表彰を受賞した旨が紹介された。

嬉しい話題で、43人の小規模校のメリットを活かし、アットホームな空間を作り、「県こども読書推進計画」の趣旨を踏まえ、日課に全校読書を位置付け、年間を通して学校司書や地域ボランティアと連携する等、こどもの興味、関心を活かした読書活動を推進したというもの。

学校司書の2人配置、蔵書管理システムの導入等の環境的な整備にも後押しされた表彰である。

11月17日付け新聞には、寿大学の11月講座で開催された「下田はてなの会」によるマジック披露の様子が紹介された。講座には、44人の受講生が参加した。

11月19日付け新聞には、下田市芸術祭の様子が紹介された。

コロナ禍の影響で3年ぶりに開催されたもので、前期は、20日までの3日間、後期は、25日から27日までの3日間を実施する。

市民文化会館大ホールが工事中のため、舞台部門は中止となった。

同日付新聞には、第23回静岡県市町駅伝競走大会の結団式の様子が紹介され、選手、関係者約40人が出席して執り行われた。

11月20日付け新聞には、下田小学校体育館で開催された初めてのボッチャ大会の様子が紹介された。市内及び南伊豆町から約53人参加し、交流が行われた。

同日付け新聞の社説には、昨年度全国の小中学校で、不登校の児童生徒が過去最多の24万人に上ったことが掲載された。

初めて20万人を突破し、前年度から24.9%の増加で、静岡県も8,030人で過去最多

を更新した。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの学校活動が制限され、登校意欲が湧きにくくなったことや、生活リズムが崩れやすくなったこと、フリースクールなど学校以外の学ぶ場が選ばれやすくなったこと、などの要因があげられていた。

学校が判断した不登校理由は「無気力、不安」が最も多く、約半分を占めており、大人が注意を払い、安心して生活できる環境を整える必要があるとしている。

フリースクール等に通うこどもは21年度に9,000人で、ここ5年で3倍となったとのことである。

不登校の増加については多忙な教育現場が、こどものSOSを受け止められない現状もあるという見方もあり、教員の増加につなげるべきと考えるが、なかなか達成されていない。

非常勤職員、会計年度職員は状況に応じて配置があるが、根本的な定数の改善には至っていない。

11月22日付け新聞には、下田中学校合唱コンクールの様子が紹介された。

全校生徒417人が体育館に一堂に会し、保護者は学年ごとに入れ替わり鑑賞した。中学校の大きな行事は、2年生の修学旅行と入学試験が残っている。

11月24日付け新聞には、16日に絵本作家の鈴木まもる先生から絵本を寄贈いただいた様子が掲載された。

新作絵本「鳥は恐竜だった 鳥の巣から見た進化の物語」を下田市と南伊豆町の各小学校、図書館に寄贈いただいた。

その他として、今日、午前中「高校の在り方地域協議会」が開催され、各市町首長、教育長、県教育委員会高校教育課、下田商工会議所会頭、下田高校同窓会役員、オブザーバーとして各高校、中学校の校長等が参加した。

生徒の人数が確実に減少して行く中、統合ありきで議論されては困るということが、前回の会議の内容であったため、在り方を全員で考えていこうというスタンスで話し合いがもたれた。

各首長からは、自分の町には必ず、高校を設置してもらわなければ困るとの主張があったが、最終的には賀茂地区全体で考えることと思う。

今回は、3月に開催予定で、情報についてはその都度お知らせしたい。

下田高校の同窓会長も参加しており、中高一貫校の設置については、あくまでも一つの手段、方策であって、まずは、賀茂地区の高校はどうあるべきか、どのように魅力化すべきかを考えることが大事と述べていた。

参加者皆さんが同じような方向で進みつつあるのかなどの印象を受けた。

以上、教育長報告事項について、質疑等があればお願いしたい。

田中委員

生徒のミサンガを注意した教員が、保護者から抗議を受け、学校側が逆に謝罪したとの記事があったが、学校が、多くの保護者からの要求に対応することが非常に大変だろうと思う。

やはり、私達と若い保護者では、環境や価値観に大きな違いがある。

そのような状況で、規則や決まりを決めるということ考えたときに、価値観の多

様化という問題があり、皆さんが納得するような規則や決まりは生まれないと思う。

学校としては、方針を示し、保護者や、児童生徒に説明して、納得を求めているのであろうが、このような問題が起きた場合は、いつまでも引きずってたくないから、謝ってしまうことで、事を治めようとする気持ちも理解できないことはない。

やはり、対象となった教員のサポートをしていただき、学校としての姿勢、方針を明確に保護者の方に伝えるべきではないかと思う。

西堀委員

保護者に学校の方針をはっきりと示すべきで、クレーム等に対して、言いなりにならずに、毅然とした対応をするべきだと思う。

このような状況では、先生方が非常に可哀そうだと思う。

教育長

そのように言っただけの保護者ばかりであれば、学校はありがたいと思う。

最近、校則の見直し、廃止の話題があるが、校則は、それまでの学校の生徒指導の経緯があり制定している。

校則は必要なのかとの思いもありながら、制定しなければ、生徒指導がままならないとの現状があるが、生徒の状況に応じて、少し落ち着いてきたら、生徒に投げかけながら、生徒の主体性、自主性を重んじて、少しずつ、校則がなくなることが理想と思う。

指導が乱暴であったり、言葉遣いもひどいものであったということであれば、謝罪しなければならぬだろうが、この記事は、そういうこととは違うと思う。

このような状況では、教員の採用試験も倍率が上がらないと思う。

このようなことがあると、大きく記事が載るわけで、一般企業へ行った方が良く考えるとと思う。

実際にこの学校の実情や、保護者の状況が分からないが、この記事を読んで、残念で、悔しいとの感想を持った。

田中委員

こども家庭庁の話題があったが、いじめ相談窓口は、各自治体に設置されるのか。

教育長

各自治体に設置とあるが、市町村レベルではなく、都道府県レベルで設置されるのではないかとと思われる。

自治体によっては、退職教員を相談窓口配置して対応している自治体もあるようだ。

こども家庭庁が、来年4月に発足するため、これから準備を行っていくことと思う。その他質疑等があれば、お願いしたい。

全委員

特になし。

教育長

教育長報告事項については、承認するものとする。

5 議事

(1) 報第 12 号 専決処分の承認を求めることについて

専第 12 号 令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会
教育長 報第 12 号専決処分の承認を求めることについて、専第 12 号令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会を議題とする。
事務局の説明をお願いする。

生涯学習課長 報第 12 号専決処分の承認を求めることについて、下田市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により、専第 12 号令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会を別紙のとおり 11 月 17 日に専決したため、承認を求めるもので、本予算は、11 月 17 日及び 18 日に開催された下田市議会臨時会に提出し、可決された。

補正予算の内容については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連と、人事院勧告を勘案した人件費の増額で、人件費以外の生涯学習課所管の補正予算について説明する。

9 款 5 項 2 目青少年教育費 6402 青少年活動推進事業は、940 千円の減額で、20 歳の集い出席者用の抗原検査キットの購入費が確定したことによる不用額の減額。

6 項 3 目下田市民スポーツセンター管理運営費 6752 下田市民スポーツセンター管理運営事業は、40 千円の減額で、空気循環式の紫外線清浄機の購入費確定に伴う不用額の減額。

感染症対策分として購入した検査キット、空気清浄機計 1,120 千円については、特定財源として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,110 千円が充当されている。

教育費全体の補正額は、人件費を含め、481 千円の増額である。

教育長 報第 12 号専決処分の承認を求めることについて、専第 12 号令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会について、質疑等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 質疑等もないため、報第 12 号専決処分の承認を求めることについて、専第 12 号令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会については、原案のとおり承認することとしてよろしいか。

全委員 異議なし。

教育長 報第 12 号専決処分の承認を求めることについて、専第 12 号令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 9 号）教育委員会については、原案のとおり承認するものとする。

- (2) 議第 26 号 下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定について
- 教育長 議第 26 号下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定についてを議題とする。
事務局の説明をお願いする。
- 学校教育課長 議第 26 号下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定について、下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱を別紙のとおり定めることについて、教育委員会の承認を求めるもの。
提案理由は、休日部活動の段階的な地域移行について検討するため。
第 1 条については、下田市立中学校部活動在り方検討協議会を設置する趣旨について規定した。
第 2 条は、協議会の所掌事務を定めたもので、部活動の在り方の調査、研究、検討や情報収集の他、地域のスポーツ、文化関係団体等との連携による持続的な部活動運営体制の確立に関すること等を規定した。
第 3 条は、協議会の組織について定めたもので、会長を教育長とし、地域のスポーツ文化関係者、小中学校教職員・保護者、部活動指導員等からなる委員で組織する旨を規定した。
第 4 条は、協議会委員の任期を定めたもので、委員の任期は 2 年と規定した。
第 5 条は、会長、副会長の職務を規定した。
第 6 条は、協議会の会議について定めたもので、会議の招集、議事、議決、原則公開等を規定した。
第 7 条は、関係者の出席を定めたもので、必要に応じ、関係者の出席を求め、意見を聞くことができる旨を規定した。
第 8 条は、守秘義務、第 9 条は、協議会の庶務、第 10 条で、その他として、協議会に関し必要な事項は会長が別に定める旨を規定した。
附則第 1 項では、この告示は公示の日から施行する旨を規定し、第 2 項で、最初に委嘱、指名された委員の任期は、第 4 条で規定した 2 年に関わらず、令和 6 年 3 月 31 日までの任期とする旨を規定した。
協議会の構成団体の案を添付したので、確認いただきたい。
- 教育長 ただ今の説明について、質疑等があればお願いしたい。
- 田中委員 部活動の地域移行について説明をお願いしたい。
- 学校教育課長 部活動の地域移行については、教職員の働き方改革の一環として、国においても検討会議を設置し、休日の部活動の地域移行を検討しており、その目標年次を令和 5 年度から段階的に進め、令和 7 年度末を目標としている。
令和 5 年度から 3 年間で推進、改革の集中期間とし、全ての都道府県で、休日の部活動の地域移行に向けた、具体的なスケジュールや内容等の推進計画を策定し、それを基に市町でも、推進計画を策定することとされている。

- 田中委員 社会人の部活動指導員の設置についても協議するのか。
- 学校教育課長 地域で部活動の受け皿となる団体の育成に加え、部活動指導員を配置し、休日の部活動を任せる等も含め、総合的に検討していくこととなる。
- 教育長 運動部活動の地域移行に関する検討会議では、令和7年度末までには、休日の部活動に対応可能な地域から、段階的に地域移行するように提言されている。
9月定例市議会においても、部活動の地域移行に関する一般質問があった。
この協議会については、当初、部活動地域移行検討協議会とすることも検討されたが、部活動在り方検討協議会として、じっくりと在り方、現状を協議し、最終的に、どのように地域移行を進めるべきか協議されることとなる。
他に質疑があれば、お願いしたい。
- 全委員 特になし。
- 教育長 他に質疑等もないため、議第26号下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定については、原案のとおり承認することとしてよろしいか。
- 全委員 異議なし。
- 教育長 議第26号下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定については、原案のとおり承認するものとする。

(3) 議第27号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について

(令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)教育委員会)

- 教育長 議第27号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)教育委員会を議題とする。
事務局の説明をお願いします。
- 学校教育課長 議第27号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)教育委員会を別紙のとおり定めることについて、教育委員会の意見を求めるもの。
提案理由は、12月7日開会予定の12月定例市議会に提出する、令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)のうち、教育委員会部分に対する意見を求めるもの。
歳入予算から説明する。
15款1項1目4節児童福祉費負担金子どものための教育・保育給付費負担金15,984千円及び16款1項1目3節児童福祉費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金6,273千円の増額は、民間保育所、地域型保育所の運営費に対する国県負担金の増

額で、基準額の改正及び入所児童の増によるもの。

16 款 2 項 2 目 3 節児童福祉費補助金は、617 千円の増額で、多様な保育推進事業 542 千円の増額は補助対象となる 1・2 歳児の増によるもの、待機児童解消特別対策事業 780 千円の減額は、民間保育所途中入所児の円滑な受け入れのための補助金で、事業の対象となる保育士配置が無かったための減額。

子ども子育て支援給付費補助金 855 千円の増額は、民間こども園の幼稚園在園児童に関する運営費補助で、対象児童の増によるもの。

19 款 2 項 1 目 13 節奨学振興基金繰入金は、565 千円の減額で、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった英語力向上プロジェクト事業経費の減額及び英語検定受検補助事業の事業費の増額によるもの。

次に歳出予算について説明する。

3 款 3 項 3 目保育所費 1550 公立保育所管理運営事業は、355 千円の増額で、消耗品費、光熱水費の不足見込額の増額。

4 目民間保育所費 1600 民間保育所事業は、36,848 千円の増額で、民間保育所給食費補助金 66 千円の増額は、入所児童数の増及び算定替えによるもの、多様な保育推進事業補助金 1,417 千円の増額は、対象となる 1・2 歳児の増、待機児童解消特別対策事業補助金 1,560 千円の減額は保育士配置が無かったための減額、保育所運営費 36,925 千円の増額は、基準額の改正及び入所児童の増によるもの。

5 目認定こども園費 1670 認定こども園管理運営事業は、2,871 千円の増額で、消耗品費、光熱水費の不足見込額の増額、トイレ改修工事 2,300 千円はストマ装具装着児童に対応するため、4 歳児トイレに幼児用汚物流しを設置する。

8 目子育て支援施設管理運営費 1745 地域子育て支援センター運営事業は 56 千円の増額で、不足見込額の光熱水費の増額。

9 款 1 項 2 目事務局費 6010 教育委員会事務局総務事務は 114 千円の増額で、電話料の不足見込額の増額。

3 目奨学振興費 6020 奨学振興事業は、565 千円の減額で、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった英語力向上プロジェクト事業補助金 750 千円の減額及び受検者の増が見込まれる英語検定受検推進補助金 185 千円の増額。

5 目教育振興基金費 6040 教育振興基金 5,838 千円及び 6 目奨学振興基金費 6045 奨学振興基金 634 千円の増額は、ふるさと応援寄附の増に伴う基金積立金の増額。

2 項 1 目小学校管理費 6050 小学校管理事業は、2,584 千円の増額で消耗品費、燃料費、光熱水費、電話料は、それぞれ不足見込額の増額。

3 項 1 目中学校管理費 6150 中学校管理事業は 1,967 千円の増額で、光熱水費及び電話料は不足見込額の増額、修繕料 550 千円の増額は、スクールバス点検、車検に伴う修繕等。

7 項 1 目 6800 学校給食管理運営事業は、3,700 千円の増額で、消耗品費 66 千円はボイラー用薬品の購入、光熱水費 854 千円は、不足見込額の増額、修繕料 2,780 千円の増額は、残菜粉碎機のポンプ修繕、給食配送車 3 台のタイヤ交換を行う。

生涯学習課長 続いて、生涯学習課関係を説明する。
5 項 1 目社会教育総務費 6350 社会教育総務事務は 51 千円の増額で、燃料費の不足見込額の増額、5 目公民館費 6550 公民館管理運営事業は 1,773 千円の増額で、光熱水費の不足見込額の増額、修繕料 1,100 千円の増額は、中央公民館自動火災報知設備修繕を行うもの。
6 目図書館費 6600 図書館管理運営事業は 252 千円の増額で、光熱水費の不足見込額、6 項 2 目吉佐美運動公園費 6750 吉佐美運動公園管理運営事業は 371 千円の増額で、管理用備品として野球用ベンチを設置するもの。

教育長 ただ今の説明について、質疑等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 質疑等もないため、議第 27 号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 10 号）教育委員会については、原案のとおり承認することとしてよろしいか。

全委員 異議なし。

教育長 議第 27 号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和 4 年度下田市一般会計補正予算（第 10 号）教育委員会については、原案のとおり承認するものとする。

(4) 議第 28 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(5) 議第 29 号 下田市教育委員会委員の辞職の同意について

教育長 本日は、追加議案を 2 件提出する。

追加議案は、議第 28 号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、議第 29 号下田市教育委員会委員の辞職の同意についての 2 件で、特定の個人の情報が含まれる案件のため、非公開での審議をお願いしたい。

全委員 異議なし。

教育長 議第 28 号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、議第 29 号下田市教育委員会委員の辞職の同意についての 2 件は、非公開で審議を行うこととする。

～非公開審議～

教育長 議第 28 号要保護及び準要保護児童生徒の認定については、原案のとおり認定するものとする。

＜非公開での審議＞

認定 1 件

～非公開審議

議第 29 号下田市教育委員会委員の辞職の同意については、原案のとおり同意するものとする。

＜非公開での審議＞

同意 1 件

6 協議報告事項

教育長 事務局から、協議報告事項があればお願いします。

学校教育課長 2 件報告する。

1 件目は、教育長報告事項でも報告があったが、旧稲生沢中学校での備品等の譲渡会に続き、旧稲梓中学校、旧下田東中学校でも、譲渡会を行うこととしている。

2 月 12 日（日）に旧稲梓中学校、翌週の 19 日（日）に旧下田東中学校で行う予定で、市民には回覧等でお知らせする。

2 件目は、渡邊亮治委員の 3 期目の任期が、12 月 12 日をもって満了となる。

渡邊委員からは退任したい旨の意向を伺っている。

後任の方は、白浜在住の宮内慎也氏 45 歳で、高校 2 年生、中学校 1 年生の保護者の方である。

明日の市議会全員協議会で報告し、市議会 12 月定例会に教育委員の任命についての議案を提出する。

教育長 ただ今の報告について、質疑等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 それでは、協議報告事項は終了する。

7 その他

教育委員会 12 月定例会を 12 月 27 日（火）13 時 30 分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

8 閉会

11 月定例会 11 月 24 日（木）13 時 30 分開会。

教育長 15 時 00 分に閉会を宣す。

会議録署名人